

広島市の学校における働き方改革推進プラン（案）及び 広島市立中・高等学校部活動の方針（案）について

1 広島市の学校における働き方改革推進プラン（案）について

(1) プランのねらい

学校においてこれまで教職員が担ってきた役割の見直しと業務の効率化を図り、限られた時間の中で児童生徒に向き合う時間を十分に確保することなどにより、日本型学校教育のよさである児童生徒に対する総合的な指導を持続的に行うことのできる学校教育体制を構築する。

また、それらを担う教職員については、メリハリのある働き方を進めることにより、ワーク・ライフ・バランスを実現し、心身ともに健康を保持する。

(2) 計画期間

2018年度から2022年度までの5年間

なお、「広島市教育振興基本計画」（平成22年度～平成32年度）の次期計画の策定年度かつプランの中間年度である2020年度には、必要に応じてプランの見直しを行う。

(3) 「広島市の学校における働き方改革推進プラン（案）」の内容等 別冊1のとおり。

(4) 今後のスケジュール

平成30年12月21日 教育委員会議で報告

平成30年12月末 策定・公表、学校への通知

策定後は、教育委員会、学校、地域・PTA・子ども会等の子どもに関わる全ての人々が、それぞれの立場に応じた役割を果たしながら、働き方改革を推進していく。

2 広島市立中・高等学校部活動の方針（案）について

(1) 方針のねらい

広島市立中学校、高等学校、広島中等教育学校及び広島特別支援学校（中学部及び高等部）における部活動が、学習指導要領に示す学校運営上の留意事項に基づき実施され、将来にわたり持続可能なものとなるようにする。

また、各学校において、従前から行われてきた部活動の指導方針や練習方法、休養日の取り方等が見直され、短時間で効果の得られる合理的でかつ効率的・効果的な指導が行われたり、休養日が十分に設けられたりするなど、部活動が生徒や教職員にとって、健康に配慮され、より充実したものになるようにする。

(2) 策定までの経緯

より実効性のある方針を策定するため、以下の過程を経て、方針を策定する。

平成30年 3月 ・ スポーツ庁が、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定し、各教育委員会に通知。

5月～ ・ 市教委は、「広島市立中・高等学校 運動部活動の在り方に係る意見交換会」を開催（3回）し、校長会や学校体育団体の代表者等から意見聴取。

11月 ・ 文化庁が「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（素案の概要）」を公表。

・ 市教委は、広島市立中・高等学校の文化部活動関係者から意見聴取。

(3) 「広島市立中・高等学校 部活動の方針（案）」の内容等 別冊2のとおり。

(4) 今後のスケジュール

平成30年12月21日 教育委員会議で報告

平成30年12月末 策定・公表、学校への通知

平成31年 4月～ 広島市立学校において運用開始

策定後は、本方針を踏まえた各学校の対応状況について、教育委員会が定期的に把握する。